

当資料は、2026年5月18日に米国で発表されたプレスリリースの抄訳版です。

米国リリース原文：[Dell Technologies Closes the Gap Between AI Ambition and AI Outcomes | Dell USA](#)

2026年5月19日

デル・テクノロジーズ株式会社

## デル・テクノロジーズ、AIへの志向を現実の成果につなげる

### 「Dell AI Factory with NVIDIA」の機能強化を発表

エージェントAI、データ オークストレーション、次世代インフラストラクチャー、およびエンタープライズ AI を実験段階から実用段階へと進化させるオープン エコシステムの拡大を実現

#### ニュースの概要

- **大規模なエージェントAI**：NVIDIA NemoClaw のサポートを備えたデスクサイドソリューションにより、企業はデータを流出させることなく、セキュアで自律的なAI エージェントをローカル環境で構築・実行可能に。さらに、「Dell AI Factory」全体で OpenShell を統合することで、デスクサイドからデータセンターまでのシームレスなスケールリングを実現
- **AI-ready なデータ**：あらゆる種類の何十億ものファイルのインデックス作成を高速化し、SQL クエリのパフォーマンスが最大6倍に向上。NVIDIA Omniverse との新たな統合により、企業データをAIの燃料に変換
- **次世代インフラストラクチャー**：ターンキー型のラック導入、インテント ベースのネットワーク、業界で最も効率的なラックマウント型 CDU がAI 基盤を強化
- **成果をもたらすオープンエコシステム**：Google、Hugging Face、OpenAI、Palantir、Reflection、ServiceNow、SpaceXAI などによる新たなソリューションに加えて、セキュリティ ソリューションとサービス、そして新たな「Dell AI Ecosystem Program」により、企業が管理するインフラストラクチャーにAIを導入する手段が拡大



## 2026年5月18日、米ネバダ州ラスベガス『Dell Technologies World 2026』発：

デル・テクノロジーズは、企業が AI への志向を現実の成果へと変えるために必要な基盤を提供する、「Dell AI Factory with NVIDIA」の大幅な機能強化を発表しました。すでに 5,000 社<sup>(1)</sup>を超えるお客様が「Dell AI Factory」を導入しており、今回のポートフォリオの拡充は、企業が自信を持って AI を導入し、目的に応じて拡張しながら、管理するインフラストラクチャー上で信頼できるデータを使用して成果を創出できるよう設計されています。

### 背景

多くの企業にとって、課題は AI への志向が不足しているからではなく、AI の実行力にあります。AI 成熟度のあらゆる段階において、組織が AI を導入するうえでの最重要課題は、データの可用性と品質です<sup>(2)</sup>。信頼できる AI 対応のデータ基盤がなければ、最高のインフラストラクチャーでも十分にその力を発揮できません。パイロット運用は本番環境に移行する前に停滞し、エージェント AI がもたらす可能性は手の届かないままとなります。デル・テクノロジーズと NVIDIA は、価値実現までの時間を最大 84%<sup>(3)</sup>短縮する、シンプルで統合されたアプローチにより、企業が自信を持って事業を拡大できるよう支援します。

### あらゆるワークロードに対応するエージェント AI

エージェント AI のワークロードが複雑になるにつれて、クラウド コストはますます予測困難になっています。組織は、パフォーマンス、データ主権、コスト効率性が最優先される自律型 AI の導入において、より統制のとれたアプローチを求めています。

「[Dell Deskside Agentic AI](#)」は、デル・テクノロジーズの高パフォーマンス ワークステーションと NVIDIA NemoClaw を搭載した新たなソリューションで、デバイス外にデータを流出させることなく、企業が自律型 AI エージェントをローカル環境でより安全に構築して実行できるようにします。デル・テクノロジーズのエンド ツー エンドのサービスによってサポートされるこのソリューションは、ソフトウェア エンジニアリング、学術研究、規制の厳しい業界の専門分野向けに設計されており、変動するクラウド トークンのコストを統制されたインフラストラクチャーへの投資へと転換します。「Dell Deskside Agentic AI」を使用すると、組織はわずか 3 カ月<sup>(4)</sup>でパブリッククラウドの API コストに対する投資を回収することができます。

自律型エージェント向けの安全なランタイムである [NVIDIA OpenShell](#) が、「Dell AI Factory with NVIDIA」全体でサポートされるようになり、組織は「Dell Pro Precision タワー」や「Dell Pro Max with GB10 および GB300」から「Dell PowerEdge XE」サーバーに至るまで、プライベート コントロールを備えたエージェントの構築、展開、管理が可能になります。「Dell AI Data Platform with NVIDIA」を搭載した「Dell-NVIDIA AI-Q 2.0 リファレンス アーキテクチャ

ー」は、規制対象業界向けの本番環境ですぐに利用できるマルチエージェント リサーチ ワークフローにより、この基盤を拡張します。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

### 企業データを AI の原動力に変換

AI の品質は、データを見つけて信頼し、行動に移せるかどうかにかかっています。デル・テクノロジーズは、発見と準備から分析、AI 主導のエクスペリエンスに至るまで、ライフサイクル全体にわたってエンタープライズ データを大規模に AI 対応にするための、「[Dell AI Data Platform](#)」の大幅な進歩を発表しました。

- **大規模な AI データ パイプラインの統合とオーケストレーション：**「Dell AI Data Platform」のオーケストレーションおよび検索機能の強化により、何十億もの非構造化ファイルのインデックスが作成され、管理されたパイプラインに接続されることで、AI 向けのデータ検知とデータセット作成を高速化します。「Dell AI Data Platform」の統合サービスにより、企業はデータ準備、スキルギャップ、運用の複雑さなどの課題に対処でき、パイロット運用から本番環境への迅速な移行が可能になります。
- **NVIDIA Blackwell および次世代 NVIDIA Vera CPU プラットフォーム向けの SQL 分析を加速：**「Dell AI Data Platform」では、Starburst を搭載した「Dell Data Analytics Engine」が GPU アクセラレーションによる SQL 分析をエンタープライズ AI にもたらし、[Vera](#) を含む将来のプラットフォーム向けに設計されたサポートにより、現在の [NVIDIA Blackwell GPU](#)<sup>(5)</sup> でクエリ パフォーマンスを最大 6 倍高速化します。これにより、従来のデータ アナリティクス アプリケーションとデータ集約型エージェント AI アプリケーションの双方におけるインサイトが加速されます。
- **高密度で TCO を削減：**新たな「[Dell ObjectScale X7700](#)」超高密度アプライアンスは、コンピューティングからストレージまでの柔軟な拡張と TCO（総所有コスト）の改善を実現し、HDD の容量を前世代よりも最大 45%<sup>(6)</sup> 増加させます。今後サポート予定の 245TB オールフラッシュ ドライブは、「ObjectScale」フラッシュ密度の 3 倍<sup>(7)</sup> を超える見込みです。
- **統合データによるデジタルツインと AI 主導型のエクスペリエンスの強化：**「Dell AI Data Platform with NVIDIA」のストレージと検索エンジンは [NVIDIA Omniverse](#) ライブラリーと統合され、スケーラブルなオブジェクト ストレージとセマンティックなベクトル ベースの資産検索を組み合わせています。これにより、PLM システムとリポジトリを Omniverse に直接接続し、デジタルツインとフィジカル AI のトレ

ーニングと検証のワークフローに、信頼性が高く整理されたデータを提供できるようになります。

### モダン AI の要求に応える次世代インフラストラクチャー

デル・テクノロジーズは、現代企業の AI ワークロード向けに構築された新しいシステムにより、AI インフラストラクチャー ポートフォリオを拡大しています。デル・テクノロジーズは、競合他社<sup>(\*)8)</sup>の 2 倍以上のラックスケール サーバーを出荷するラックスケール インフラストラクチャーのトッププロバイダー<sup>(\*)9)</sup>として、業界で最も幅広い AI インフラストラクチャー ポートフォリオに「[Dell PowerRack](#)」を追加しています<sup>(\*)10)</sup>。

「Dell PowerRack」は、[コンピューティング](#)、[ネットワーク](#)、ストレージを一つに統合したシステムで、熱設計、電源管理、およびソフトウェアの最適化がゼロから連携するように構築されています。その結果、コンポーネント アセンブリによる統合オーバーヘッドなしで、エンタープライズ規模で AI と HPC のワークロードを加速します。ストレージとネットワーク向けの「Dell PowerRack」は、工場で統合された専用の「Dell Exascale」ストレージと「Dell PowerSwitch」ネットワークを提供する、シンプルなラックスケール プラットフォームです。パフォーマンス、電力、冷却に対するシステムレベルのアプローチは、「Dell Integrated Rack Controller」によって一元的に管理されます。

その他のインフラストラクチャーに関する主なアップデートは、以下のとおりです。

- **超大規模環境に対応する業界唯一の 4 in 1 型ハイパースケール ストレージ<sup>(\*)11)</sup> :** デル・テクノロジーズは、「Dell Exascale Storage」に「Dell PowerFlex」を追加し、AI、HPC、および要求の厳しいエンタープライズ ワークロード向けのブロック (PowerFlex)、ファイル (PowerScale、Lightning File System)、およびオブジェクト (ObjectScale) をサポートする「Dell PowerRack」の統合ラック アーキテクチャーを完成させます。
- **コンパクトでマウント可能なラック ワークステーション :** 「Dell Pro Precision 7 R1」は、[NVIDIA RTX PRO Blackwell Max-Q Workstation Edition GPU](#) と最大 64TB のストレージを搭載し、1U フォームファクタでスペースに制約のある環境でハイパフォーマンス コンピューティングを実現します。
- **統合ラック管理 :** 「Dell Integrated Rack Controller」と「Dell OpenManage Enterprise」の新リリースにより、ラック全体にわたるリモートデバイス接続とオーケストレーションが拡張され、統合コンピューティングの統合コントロール プレーンを実現します。

- [次世代の冷却ソリューション](#)：「Dell PowerCool CDU C7000」は、[NVIDIA Vera Rubin NVL72](#) プラットフォームの冷却ニーズを満たす業界初のラックマウント型冷却分配ユニットです。コンパクトな 4U、19 インチのフォームファクタでの冷却能力を拡張し、最大 40°C の施設用水をサポートします。

## オープン エコシステムの拡大によるスケーラブルなソリューション

新たな「**Dell AI Ecosystem Program**」は、AI ソフトウェア プロバイダーが「Dell AI Factory」インフラストラクチャー上でソリューションを検証し、断片的なイノベーションを実証済みで導入可能な成果に変えるための体系的な手段を提供します。企業にとっては、本番環境規模での AI 導入におけるリスクの低減、概念実証 (PoC) から実稼働までの時間の短縮、データが存在する場所で AI ソリューションを実行できることを意味します。

AI 業界のリーダーやフロンティア モデルを企業にもたらすことで、組織は信頼できる環境下でデータ、モデル、運用を管理し続けることができます。

- **Google** とデル・テクノロジーズの協業により、「Dell PowerEdge XE9780」サーバー上の Google Distributed Cloud に Gemini 3 フラッシュモデルを導入します。この完全統合型のオンプレミス ソリューションにより、企業はプライベートかつ機密性の高いコンピューティング環境下で、高度な生成 AI ワークロードを実行できます。安全な BIOS と強固なセキュリティ証明書を活用することで、組織はより厳格なデータ保護、データ レジデンシー、データ主権の要件をシームレスに満たすことができます。このコラボレーションは最新の Gemini モデルをサポートしており、100 万以上のコンテキスト ウィンドウへの拡張や、Gemini CLI のような高度な AI ツールが搭載され、現代の企業が求めるセキュリティと制御を実現します。
- 「[Dell Enterprise Hub on Hugging Face](#)」により、企業は「Dell AI Factory」インフラストラクチャー向けに最適化された Minimax-M2.7、DeepSeek Pro、DeepSeek-V4、GLM 5.1、Kimi K2.6 など、厳選された最新のオープンウェイト モデルのコレクションにオンプレミスでアクセスできます。業界が長いコンテキストにおけるフロンティア レベルの推論を提供する非常に効率的なアーキテクチャーに移行するにつれて、このコラボレーションはエンタープライズ AI のトークンエコノミクスを変革し、データが存在する場所に最も高性能なオープンモデルを低コストで展開できる、より信頼性の高い安全な道筋を提供します。
- **OpenAI** とデル・テクノロジーズは、より多くの企業が重要なデータ、システム、ワークフローを保有する環境に Codex を導入できるよう支援しています。Codex は多くの企業がデータをオンプレミスで保存、整理、管理するために活用している「Dell AI Data Platform」と連携します。これにより、コードベース、ドキュメン

ト、業務システム、運用ナレッジ、チームのワークフローといった、エージェントが活用すべき社内コンテキストに Codex をより近い形で接続できるようになります。さらに両社は、企業が AI ワークロードを高度化するために導入している「Dell AI Factory」と Codex の連携についても、今後検討が進められます。

- **Palantir** の Foundry と AIP プラットフォームは「Dell AI Factory」にオンプレミスで導入されます。Palantir のオントロジー レイヤーは「ObjectScale」と「PowerFlex」に導入され、企業ソースからデータを取り込み、「Dell AI Factory」に導入された AI モデルを使用してビジネス ワークフローを自動化します。これにより、企業や政府機関は全社的なデータソースを接続し、それらの関係性を定義して動的に管理し、AI を最大限に活用して事業運営を最適化できます。これらはすべて組織の境界下で行われます。
- **Reflection** のオープンソースの最先端 AI モデルが、「Dell AI Factory」にオンプレミスで導入されます。オープンモデルは、政府機関をはじめとする規制の厳しい業界の組織が、完全に制御された環境に AI を導入するのに役立ちます。「Dell AI Factory」に導入された Reflection のフロンティア レベルの品質モデルは、「Dell AI Data Platform」と統合されており、お客様がオンプレミスのデータソースから安全にナレッジを引き出すのに役立ちます。
- **SpaceXAI** とデル・テクノロジーズは、Grok の高度な推論機能とマルチモーダル機能をより安全なエンタープライズ グレードの AI アシスタントとして提供し、完全にオンプレミスまたはハイブリッド形態でのアプローチでも導入が可能です。

さらに、**ServiceNow** のお客様は、「Dell AI Factory」を活用してインフラストラクチャーとエンタープライズ ワークフローの自動化を統合できるようになります。これにより、ビジネス成果に直結する AI の発見、管理、運用が可能になります。

Mistral による**エージェントイック AI**、Eviden 傘下の Fogsphere および Ipsotek による**コンピュータービジョン**、UneeQ Digital Humans による**没入型 AI**、Poolside による**コードアシスタント**など、一般的な企業成果を実現する新しい検証済みの AI ソリューションは、「Dell Automation Platform」カタログから直接導入できます。CrowdStrike、Fortanix、F5 を活用した新たな**セキュリティ** ソリューションとサービスは、AI インフラストラクチャー、データ、モデル、およびアプリケーション全体にわたる 24 時間 365 日のフルスタック保護と機密 AI を提供し、よりレジリエントな AI 基盤を実現します。さらに、JFrog とデル・テクノロジーズは、AI モデル、MCP (Model Context Protocol) 、エージェント スキルとソフトウェア アーティファクトを大規模かつ安全に管理するための中央ハブを提供します。

## コメント：

デル・テクノロジーズの会長 兼 CEO（最高経営責任者）マイケル デル（Michael Dell）は、次のように述べています。「エージェント型 AI の登場により、すべての組織がインテリジェンスを迅速にインパクトへと変えるか、あるいは時代遅れになるかという課題を抱えています。当社は、お客様がセキュリティ、ガバナンス、コスト効率を備えた自社管理のインフラストラクチャー上でデータを AI の原動力へと変換することをサポートしています。」

NVIDIA 創業者/ CEO ジェンスン フアン（Jensen Huang）氏は、次のように述べています。「エージェント型 AI の時代が到来し、企業における AI 活用は爆発的に拡大しています。デル・テクノロジーズと NVIDIA は、まさにこの瞬間に向けたフルスタックの AI ファクトリーを構築しています。アクセラレーテッド コンピューティング、ネットワーキング、ストレージ、ソフトウェア、そしてサービスを、デスクトップからデータセンターまでシームレスに拡張可能な形で提供することで、AI の可能性を、あらゆる企業にとって前例のない生産性へと変えていきます」。

## 提供時期について

- 「Dell Deskside Agentic AI Solutions」は、すでに利用可能です。
- 「Dell AI Data Platform のオーケストレーションおよび検索機能」は、2026 年第 2 四半期に提供開始予定です。
- 「NVIDIA Blackwell および NVIDIA Vera 搭載の Dell Data Analytics Engine 」は、2027 年第 1 四半期に提供開始予定です。
- NVIDIA 認証済みの「ObjectScale」ストレージの検証は、2026 年第 2 四半期に開始予定です。
- 「Dell ObjectScale」および「Dell Data Search Engine」と NVIDIA Omniverse の統合は、すでに利用可能です。
- 「PowerFlex」が追加された「Dell Exascale」は、2027 年上半期に提供開始予定です。
- 「Dell Pro Precision 7 R1」は、2026 年 7 月に提供開始予定です。
- 「Dell PowerRack for compute」は、すでに利用可能です。
- 「Dell PowerRack for Dell PowerSwitch」は、2026 年 9 月に提供開始予定です。
- 「Dell PowerRack for Dell Exascale ストレージ」は、2026 年下半期に提供開始予定です。
- 「Dell Integrated Rack Controller」と「Dell OpenManage Enterprise」は、2026 年 5 月に提供開始予定です。
- 「Dell PowerCool CDU C7000」は、2026 年第 3 四半期に提供開始予定です。

- 「Dell AI ソリューション」は 2026 年までに提供開始予定です。

###

- \*1. 2026 年 4 月にデル・テクノロジーズが分析したお客様の注文データの結果に基づく。
- \*2. Gartner®、"AI Maturity Matters: Increased Trust, Improved Effectiveness, Optimized Operations"、2025 年 6 月 30 日。
- \*3. 2026 年 4 月、デル・テクノロジーズが委託した「Accelerate AI time to value with Dell Services」という Principled Technologies によるレポートに基づく。
- \*4. Signal 65 と Futurum Group による検証済みの分析に基づく。「エージェント AI の経済性：『Dell AI Factory』によるオンプレミス導入とクラウドの比較」（2026 年 5 月）公開されている API 価格と、デル・テクノロジーズが提供したソリューションの価格設定とパフォーマンスデータに基づく。節約額は、複数年にわたる導入と、一般知識、営業、およびソフトウェア開発のワークロードにさまざまな「Dell Pro Max ワークステーション」と「PowerEdge」サーバーが使用され、すべてエージェント AI が週 5 日の勤務時間にわたって行うことを前提としています。分析には、推定クラウド割引額、インフラストラクチャー ホスティング、エネルギー、インフラストラクチャー管理、およびデル・テクノロジーズのサポートサービスの費用が含まれます。結果は個々に異なる場合があります。
- \*5. デル・テクノロジーズの社内分析に基づく。（2026 年 5 月）
- \*6. 計画中の「ObjectScale X7700」で利用可能な最大ストレージ容量と前世代の ECS 5000 でデル・テクノロジーズが比較した結果に基づく。（2026 年 5 月）実際の結果は異なる場合があります。
- \*7. 245TB ドライブのサポートとノードあたりのドライブ数の拡大は、2026 年下半期の「ObjectScale」リリースを目標としています。実際に使用可能な容量と密度は異なる場合があります。
- \*8. 世界中で販売されている CY25 ラックスケールユニットに関する IDC データに基づく。
- \*9. 世界中で販売されている CY25 ラックスケールユニットに関する IDC データに基づく。
- \*10. 内部分析に基づく。（2026 年 3 月）
- \*11. 内部分析に基づく。（2026 年 5 月）比較は、単一エンジンのマルチプロトコル設計を除き、1 つの再利用可能なハードウェアプラットフォーム上の個別のファイル、オブジェクト、ブロック、および並列ファイルエンジンを指します。ブロックストレージは 2027 年暦年上半期に利用可能になる予定です。

###

## ■デル・テクノロジーズについて

デル・テクノロジーズ（NYSE : DELL）は、企業や人々がデジタルの未来を築き、仕事や生活の仕方を変革することを支援します。同社は、AI時代に向けて、業界で最も包括的かつ革新的なテクノロジーとサービスのポートフォリオをお客様に提供しています。

###

© Copyright 2026 Dell Inc.、その関連会社。All Rights Reserved.

Dell Technologies が提供する製品及びサービスにかかる商標は、米国 Dell Inc. 又はその関連会社の商標又は登録商標です。その他の製品の登録商標および商標は、それぞれの会社に帰属します。